

これは使える！ オススメ塗料②

岩崎充洋（日紡建築）

「ミラノコロッタ」

この塗材の調色は顔料で行われるため、標準色が設定されているものの基本的に任意の色を表現することができる。ミラノコロッタは厚付けタイプであり、土壁のイメージをもつことから、一般外壁に用いる場合、鮮やかな色目よりは落ち着いたアースカラーをお勧めする（写真）。

大小の骨材との組合せで独特な表情をもち、表面は粗い。骨材の粒径と塗布量は変えることができる。骨材を引き出すテクスチュアの場合は、光と陰の組合せで、表情に深みがある。

テクスチュアは全部で7種類がある。代表的なテクスチュアは「テール仕上げ」であり、大粒の骨材を木こてで一定の方向に引きすることに、より虫食い状の深い溝を付けたものの。このほか、同様に一定の方向ではなく、ランダムに骨材を引きすつて模様を付ける「ファンダム仕上げ」、表面を引き出すことなく軽く専用コテで押さえないならしく「プレス仕上げ」などがある。

新築の場合、下塗り、主材塗り、コテ処理の塗装工程をとる。下塗りでは専用の下塗材をローラー、刷毛などを用いて塗布する。

一種独特のテクスチュアではあるが、吹付け、コテ塗り作業性ともに優れているため、簡単な講習を受ければ誰でも均一なテクスチュアを表現できるようになる。また、このような意匠性塗材は、オリジナル性が高いため、事前に試し塗りなどをし

て施主からの了解を事前に得ておくことをお勧めしたい。

表面の凹凸が激しいため、フラット系や吹付けタイプ仕上げと比較すると汚れが物理的に堆積しやすい仕上げといえる。しかしながら、上塗りにアクリルシリコン樹脂などのウリヤータイプの低汚染塗料を塗装することで、汚染性を大幅に改善することができる。塗替えは、一般的には8～10年が目安。仕様によって異なるが、低汚染のクリヤー仕上げを施せば、塗替えサイクルをさらに延ばすことができる。

コストは材工共で4千200円/m²、4千900円/m²。



写真 土壁風にさまざまな色で仕上げることができる

製品情報

問合せ：エスケー化研（TEL0726-21-7733〔本社〕）

種別：厚付け装飾仕上げ塗材